

住之江区将来ビジョン[令和7年4月](骨子)

(参考資料 1)

めざす将来像「心から誇りに思える住之江区」

柱 (経営課題)	基本的な方針 (めざす成果及び戦略)	概要説明	
はぐくみ・教育 子どもたちの未来のために	安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち	切れ目のない子育て支援体制の充実	子どもは、一人ひとりの個性や人格が尊重され、健やかに育ち、育てられる「かけがえのない存在」ですが、子育てを取り巻く環境は複雑かつ困難さを増しています。子育て世帯や妊産婦、課題を抱える家庭等が、子育ての負担感が軽減され、安心して子育てができるよう、妊娠・出産期、乳幼児期、学齢期、青少年期の全てのステージに応じた切れ目のないサポートを行います。また、身近な場所での子育て相談や多様な支援の情報提供、子育てに関する情報の提供、助言等ができるよう体制を整備・充実します。
		気軽につながり安心できる支援環境の整備	子育てには不安や、悩みはつきものです。特に、核家族化や地域のつながりの希薄化が進む今日、保護者が子育てへの悩みを抱え込んだまま、不安な毎日を通してしまっている場合が増えています。保護者が孤立することなく楽しみながら子育てができるよう、悩みを相談しあえたり、子育てに関する有益な情報が確実、簡単に入手できる環境の整備を進めます。
	子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち	子どもたちが安心して学習できる環境の充実	子どもたちが十分な基礎学力を身に着けることは、子どもの将来の可能性の拡大につながります。ですが、「学校に行きづらい」「学校での勉強についていけない」「家では落ち着いて勉強できない」など、子どもたちの学びには支援を必要とする場面が多くみられます。こうした状況に応じ、誰もが安心して学習できる環境の充実を進めます。
		困難に立ち向かう力を育むための取組	子どもたちが自らの未来を切り拓いていくためには、基礎学力や知識に加え、学ぶ意欲や、課題を見つけ解決していく力を養っていくことが大切です。子ども達の未来がより充実したものとなるよう、一人ひとりが「こうなりたい」「そのためにこれを学びたい」と、将来を想い描きながらチャレンジする気持を持ち、困難に立ち向かいやり抜く力が身に着くよう取り組みます。
すこやか・まちづくり すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために	支え合い安心して暮らせるまち	包括的な支援の仕組みの構築	地域ですこやかな生活が送れるよう、福祉・健康・医療・介護・暮らしの支援などの制度のもと、福祉サービスを総合的に提供するとともに、包括的な支援の仕組みを構築し、地域において誰もが支えあい、いきいきと豊かに尊厳をもって暮らすことができるよう取組みます。
		安心して生活できるネットワークの充実	誰もが自分らしく安心して生活できる環境を実現するためには、地域内で住民同士が互いに支え合い、それぞれが自分らしく活動できるコミュニティづくりが重要です。身近に住む住民の皆さんが、お互いを気にかけて、見守ることで相手の変化に気づくことができます。住之江区では、各地域が高齢者、障がい者、子どもなどを見守る活動を行っています。変化に気づいた人が自ら助けることができな場合や解決が難しい場合であっても、地域で見守り、適切な支援につなぐことで支え合うことができます。地域で孤立せず、自分らしい生活を送ることができるような、気にかけて、つながり、支え合う地域づくりを推進していきます。
	活力と魅力のあふれるまち	地域を支える活動の活性化	住之江区の各地域では、日ごろから、夏祭りや子育てサロン、ふれあい喫茶、子どもの見守り、近所の清掃など様々な活動が行われています。これらの活動は、日々の暮らしに、にぎわいと安心をもたらすだけでなく、住之江区全体の活力の源ともなっています。こうした地域活動が将来にわたって自律的に行えるよう、地域活動を支援し、多様な主体による連携を促し、より発展する環境づくりを進めていきます。
		地域への愛着や誇りの醸成	地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができるまちづくりをめざします。身近な地域にある歴史や文化の魅力を発信し、地域の皆さんが共有することで、地域への愛着はさらに深まり、次の世代へと引き継がれていきます。ICTの活用を図りながら、このような機運を高めるための環境や仕組みづくりを進めていきます。
防災・安全 安全・安心に暮らすために	災害に強いまち	防災意識の向上	住之江区では大和川の氾濫や南海トラフ巨大地震、上町断層帯地震の発生による甚大な被害の発生が想定されています。令和6年8月8日に気象庁より南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表され注意や警戒が呼びかけられました。突然襲ってくる災害にしっかりと対応するためには、一人ひとりが知識を深め、情報を理解し、日頃から備えることはもちろん、隣近所や地域で助け合える地域づくりが大切です。このため、啓発や人材育成、個別避難計画の作成支援などを通じて自助・近助・共助を高めます。
		災害に備える環境整備	災害に強いまちづくりには、自助・近助・共助の力を高めるとともに、ハード、ソフトの両面からまち全体の環境を強化していくことが重要です。このため、津波避難ビル等の避難施設の拡充、防災協力事業者との連携、多文化共生の視点の情報発信、災害発生時の被害想定 の 分 かり や す い 周 知 等 の 環 境 整 備 に 取 り 組 み ま す。
	防犯意識の高いまち	防犯意識の向上	住之江区内の犯罪の動向としては、街頭犯罪発生件数は年々減少しているものの、還付金詐欺やオレオレ詐欺といった特殊詐欺の認知件数は増加傾向にあります。このような犯罪は、各自が防犯意識を持ち、日ごろの心がけや適切な対応で被害を防ぐことができます。このため、出前講座や広報ツールを活用した情報発信、警察との連携による各種キャンペーン等を通じて、犯罪発生状況や防犯の知識に関する区民の皆さんの理解を深め、犯罪にあわないよう防犯意識を高める啓発を行います。
		犯罪抑止のための環境整備	防犯意識の高いまちづくりのためには、地域住民が協力して防犯活動を推進することができる環境の醸成が大切です。地域住民の意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動の促進、地域・警察との連携による犯罪抑止活動の強化など、犯罪が起こりにくい環境整備に取り組みます。

施策推進のために	取り組みの方針	
区役所機能の強化 ～区民に寄り添う区役所をめざします～	区民の視点に立った区役所サービスの提供	すべての区民に対して、行政サービスや地域活動の様子をわかりやすく提供し、親切・丁寧・迅速な窓口対応を行うことで、信頼される区役所を実現します。さらにICTによる行政手続きを推進するなど、区民の視点を大切にし、区民が利用しやすい区役所づくりに取り組みます。また、区民からの相談をしっかりと受けとめ、寄り添って対応することを心がけ、「区民の役に立つ」区役所となるよう努めます。
	まちづくりの支援拠点としての機能の強化	地域コミュニティをつなぎ、まちづくりを支援するために、区役所はまちづくりの拠点としての機能の強化をめざします。地域課題の解決に向けて、地域とともに進めていくために、区役所で働く職員一人ひとりが「市民志向」「チャレンジ精神」「プロ意識」を持って業務に取り組みます。また、地域連携の強化を図るために、他の行政機関や地域団体との連携を強化し、スムーズな情報共有と支援体制を整えることが重要です。地域の要としての役割を果たし、まちづくりの拠点となるよう取り組みます。
官民連携・情報発信の強化 ～活力ある地域社会を実現します～	官民連携の強化による地域課題の解決	区民・事業者・行政等、様々な立場のものが将来ビジョンを共有し、地域課題の解決に向け、企業・大学・NPO・スポーツチーム等と連携し、民間が持つノウハウや経験等を活用した取組を進めます。地域課題に対して官民が協力し、先駆的な取組により、解決を図ります。
	区政情報・区の魅力の効果的な発信	広報紙さざんか、区HP、区SNS等といった広報媒体を活用し、区民の皆さまにとって必要な区政情報や住之江区の魅力を効果的に発信します。広報紙さざんかでは、区民の皆さまが見やすい・分かりやすい内容となるよう紙面の充実に努めます。子どもから高齢者まで、誰もが簡単に区政情報にアクセスできるよう様々な広報媒体を活用し、効果的な情報発信を進めます。